

特集 今年の夏も【省エネ】でいこう — 続けようエコライフ生活 —

今年の夏の電力需給について政府は、「安定供給ができる見通しはあるが、大規模な電源トラブルなどが発生した場合には需給ひっ迫の可能性はある」とし、現在定着している節電の取り組みが無理のない形で確実にされるよう『数値目標を伴わない節電』の要請をしました。

本格的な夏を迎えるに当たって、引き続き節電はもちろん、家庭における「省エネ生活」を心掛けましょう。

問 環境課（内線254）

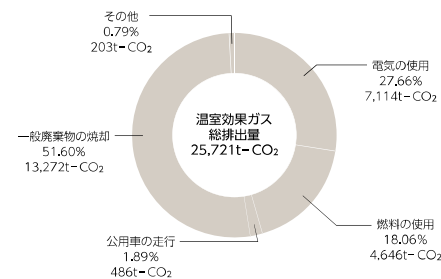
市の事務・事業に伴う 温室効果ガス排出量の公表

市では、平成14年度に「土岐市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

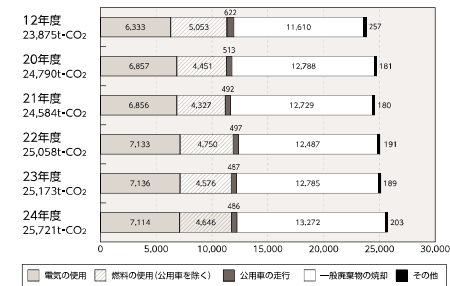
平成24年度の温室効果ガス総排出量は、25,721t-CO₂（二酸化炭素換算値）で、対前年度では、2.2%の増加となりました。グラフを見ても分かるように、一般廃棄物の焼却が約半分を占めています。ごみの焼却量を減らすよう、分別をするなど市民の皆さんもご協力をお願いします。

今年度も各課・各施設において温室効果ガスの排出量削減に取り組みます。

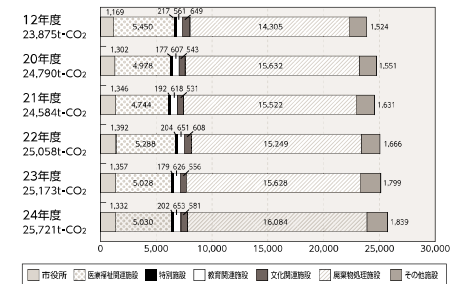
平成24年度温室効果ガス総排出量



活動別年間排出量の変化



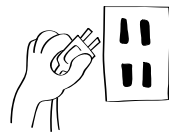
施設別年間排出量の変化



あなたもできる・すぐにできる 「10の取り組み」

地球温暖化を防ぐためには、私たち一人一人の行動が必要です。ご紹介する「10の取り組み」をぜひやってみてください。

- 1 エアコンは冷房28℃、暖房20℃
- 2 使わないコンセントは抜いてしまう



- 3 テレビを見る時間を決めて計画的に
- 4 買い物するときはマイバッグを



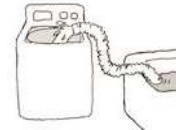
- 5 家族だんらん。同じ部屋で過ごす
- 6 冷蔵庫に物を詰め過ぎない



- 7 公共交通機関や自転車を使う
- 8 温水洗浄便座のふたを閉めよう



- 9 洗濯は風呂の残り湯を使おう
- 10 アイドリングストップを心掛けよう



「私たちにできること」

「地球温暖化」と聞くと、ただ漠然と“地球の温度が上昇しているだけ”そう思う人がほとんどではないでしょうか。「子どもたちが大きくなったときも、同じような環境で生活できているだろう」「未来はもっと便利な物であふれ、暮らしが豊かになっているだろう」本当にそうでしょうか。

地球温暖化が進行すると、生態系や水資源、食糧生産に被害が出るほか、異常気象が多発したり海面が上昇したりします。私たちの健康にも影響があるといわれています。

日本のCO₂排出量の約半分は、家庭と密接に関係しています。未来のために、みんなでできることを始めませんか。

今回は、環境を身近に考えている方に、日頃の取り組みなどを伺いました。



『意識を持って生活する』

鈴木さん (肥田町)

太陽光発電システムを設置して1年半になります。オール電化にしようと考えた時、震災後ということもあり、電気をたくさん使うのは気が引けるなあ、と思いました。でも、太陽光システムも同時に設置すれば、余った電力を売ることができるので、電力不足に少しでも貢献できると思い、両方設置しました。

システム設置後、冬の電気代は前年の約半分になり、家計も助かっています。太陽光発電は、自然を汚さないクリーンエネルギーであるため、環境問題にも貢献できているように思います。今では定着しましたが、クーラーの設定温度に気を付ける(子ども部屋は要チェック!)、エコバッグを利用する、食品トレーは回収場所へ持って行く、廃油は絶対に流さないなど、意識を持って生活することが大切だと思っています。



『楽しみながら、無理なく続ける』

大岡さん (泉町)

昔と比べて暑くなったとよく聞きます。わが家では、2年前に家を建て替えてから、庭先に自然薯・ヘチマ・朝顔・ゴーヤなどつる性の植物を植えました。地植えのせいか、よく育ち、去年は見事な緑のカーテンとなったため1階では夏にエアコンをほとんど使わずに過ごせました。今年は、去年こぼれ落ちた種から自然に発芽したものを集め、支柱は使わなくなった竿を使用し、ネットは100円ショップで購入するなど、お金をかけない工夫をしています。緑のカーテンだけでなく、ごみの分別や生ごみは堆肥にするなど、エコ生活を心掛けています。設置している太陽光システムのモニターチェックやゴーヤの収穫などをすると楽しいです。楽しみながら無理なく続けることが大切だと思います。

